



～食べものになって、旅をして、フードロスを学ぼう～

もったいない鬼ごっこについて

「もったいない鬼ごっこ」は、フードロスの問題を体感・学習できるゲーム型教材です。



フードロスがどのように発生しているのか、わかりやすく伝えるとともに、日常生活における「食べる」ことへの感謝の気持ちを啓発する食育プログラムとして活用いただけます。

ゲームのねらい・おおまかな流れ

参加者はニンジン、アジ、コメ、大豆などの食材になり、「フードロス鬼」から逃げる鬼ごっこを行います。

食材が生産、加工、流通、消費される現場をめぐり、無事に食べられるとゴールです。

フードロスが生まれるシステムの一端を学んでもらい、食べることへの感謝の気持ちを感じてもらいます。

- 食べものは長いバリューチェーンをたどり、さまざまな人の手を経たうえで生活者に届く。
- その過程で約3分の1が廃棄される。
- フードロスの原因には私たち自身の意識がかかわっている。

* 「持続可能な資源利用に向けたモデル事業（2015）」では、現役大学生ボランティア等と連携し、企業や教育機関などでの実践を企画します。

